

報道発表資料
平成28年7月15日
熊谷地方气象台
東京管区气象台

平成28年7月14日に埼玉県入間市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月14日 14時00分頃、埼玉県入間市豊岡（とよおか）から入間市大字上藤沢（おおあざかみふじさわ）で突風が発生し、住家の屋根の飛散などの被害がありました。

このため7月15日、熊谷地方气象台と東京管区气象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性はあるものの特定に至らなかった。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- ・突風は強雨やひょうを伴っていたという証言が得られた。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害または痕跡から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。
- ・聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールで JEF1 に該当する。

(根拠)

- ・住家の屋根の飛散

- *この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。
- *埼玉県本庄市、児玉郡上里町、新座市、朝霞市で発生した突風に関する調査結果については、まとまり次第、改めてお知らせします。

本件の問い合わせ先
熊谷地方気象台
電話：048-521-5858